三人と　二つの　りんご

小川未明

青空文庫

「かずおちゃん、どうして　なみだを　だしたんだい?」
と、たろうさんが　ききました。
「よしおさんと　しげおさんが　ひっぱったんだよ。」
「なんにも　しないのに?」
と、きみ子さんが　いいました。
「あそびに　こいと　いって、りょうほうから　ぼくを　ひっぱったのだ。」
「なあんだ、かずおちゃんが、いなかへ　いって　きて、めずらしいからだ。」
「いなかの　おじいさんも　いいけれど、とうきょうの　おじいさんも　いいな。」
と、たろうさんが　いいました。
「おじいさんの　ところへ、あそびに　いこうよ。」
「ええ、いきましょう。」
おじいさんの　おうちは、ちかかったのです。三人は　かけだしました。
「おじいちゃま、あそびに　きました。」
「よく　きた。さあ　おあがり。なんにも　やる　ものが　なくて　こまった。りんごが　二つ　あるから、ちえだめしを　して、よく　できた　ものに　一つ、あとの　ふたりに　はんぶんずつ　やると　しよう。」
「むずかしい　もんだい?」
「いや、やさしい　もんだいだ。おとうさんと　おかあさんと、どちらが　すきですか。」
いちばん　小さい　かずおちゃんが、
「ぼく、おかあさん。」
と、すぐに　こたえました。きみ子さんは、
「わたし、わからないわ。」
と　こたえました。おとうさんに　わるいと　おもったからです。
「ぼく、どちらも　すき。」
と、たろうさんが　こたえました。
「みんな　よく　できた。」
と、おじいさんは　わらいながら　いいました。そして、いろいろと　かんがえた　のちに、
「かずおちゃんが　いちばん　よく　こたえました。ですから、かずおちゃんに　りんごを　一つ　あげます。あとの　ふたりには　はんぶんずつ　わけて　あげます。」
と　いいました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　16」講談社
1978（昭和53）年2月10日第1刷発行
1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
初出：「セウガク一年生」
1939（昭和14）年3月
※表題は底本では、「三一人《にん》と　二つの　りんご」となっています。
※初出時の表題は「三人トニツノリンゴ」です。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：Juki
2012年7月16日作成
2012年9月27日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

三人と　二つの　りんご

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/